

記入例

【両面印刷不可】

2A 家庭状況申立書(1-1)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可) 本人が記入できない事情の者は申し出る

後期

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○を付ける(色付きの欄には記入しないこと)

申請理由 ①入学時期超過 <高校卒業(大学検定合格):平成 年 月> ②修業年限超過 < 年度に留年> ※休学は対象外
 ③昨年度までの累積取得単位数が標準単位 申請理由に○を付ける(学部生は①~⑤へ、大学院生は⑥へ) 年度の学年 >
 ④家計基準 <収入超過> 資産超過 > ⑤第三区分(本学基準で全額免除となる可能性がある) ⑥大学院生

研究部科	医学部 修士・博士・博士前期・博士後期	学年	6	学籍番号	123456	氏名	名古屋 ひかり
家族の連絡先	氏名:	名古屋 花子	続柄:	母	電話番号:	090-111-1111	自宅 (携帯)

R6年度<前期> 全額免除 1/2額免除 1/4額免除 不承認 入学前 (申請せず(理由に○))
 本学減免状況 理由 [国の制度対象で独自制度対象外だった・書類不備で不受理・忘れていた・制度を知らなかった・経済的に問題なかった・他]

続柄	氏名	住所	職名	勤続期間
1 人	名古屋 花子 (22歳)	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 (携帯TEL: 090-111-123) 自宅・自宅外 (携帯mail: x1213yyy@nagoya-cu.jp) (独立)・(下宿)	熟・講師 (社会大学生・独立世帯 給与所得者・年金受給・自営業)	R4年1月 から (就職・離職)
2 父	名古屋 一郎 (55歳)	住所: 愛知県愛知郡愛知町1-1 (自宅・自宅外(単身赴任))	飲食店経営 (給与所得者・年金受給・自営業 生活保護費受給・失業給付受給)	H10年4月 から (就職・離職)
3 母	名古屋 花子 (0年0月死別) (障害:有・無 (49歳))	住所: 同上	自営手伝い (給与所得者・年金受給・自営業 生活保護費受給・失業給付受給)	H10年4月 から (就職・離職)
4 祖父	愛知 はやて (70歳) (障害:有・無)	住所: 愛知県愛知郡愛知町3-3 特別養護老人ホーム 愛知の里 (自宅・自宅外)	乳幼児(学生以外)(18歳未満、 18~59歳、60歳以上)・学生 (給与所得者・年金受給・自営業)	R3年10月 から (就職・離職)
5 兄	名古屋 こだま (22歳) (障害:有・無)	住所: 父母と同じ (自宅・自宅外)	乳幼児(学生以外)(18歳未満、 18~59歳、60歳以上)・学生 (給与所得者・年金受給・自営業)	R4.5.1 (就職・離職)
6 妹	名古屋 みずほ (18歳) (障害:有・無)	住所: 同上 (自宅・自宅外)	乳幼児・学生以外(18歳未満、 18~59歳、60歳以上)・学生 (給与所得者・年金受給・自営業)	(就職・離職)
7 妹	名古屋 さくら (13歳) (障害:有・無)	住所: 同上 (自宅・自宅外)	乳幼児・学生以外(18歳未満、 18~59歳、60歳以上)・学生 (給与所得者・年金受給・自営業)	(就職・離職)
8	障害:有・無 (歳)	住所: 同上 (自宅・自宅外)	乳幼児・学生以外(18歳未満、 18~59歳、60歳以上)・学生 (給与所得者・年金受給・自営業)	(就職・離職)

2 経済援助
 A 離別した父又は母からの経済的援助等 (生活費・教育費・養育費・祝い金等、金銭の授受全て) 有・無 続柄 援助等の額(月額・年額) 円 A
 B 別生計(別居)の兄弟姉妹・祖母等からの経済的援助(仕送り等) 有・無 氏名(続柄) 名古屋はやぶさ (兄) 援助等の額(月額・年額) 10,000 円 B

番号	続柄	給与収入(万円)	年金収入(万円)	経済援助額(万円)	左記以外の収入(万円)	収入合計(万円)	所得換算(万円)	自営所得(営業・農林漁等)	配当・不動産等(その他の所得)	所得合計(万円)
2	父									(ア)
3	母									(イ)
1	本人									(ウ)
5	配偶者									(エ)
										(オ)

大学記入欄(色付き部分)は 記入不要

合計所得金額 (ア)~(オ)合計 ①(ア)~(オ)

【両面印刷不可】

2A

家庭状況申立書(1-1)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可) 本人が記入できない事情の者は申し出る

後期

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○を付ける(色付きの欄には記入しないこと)

申請理由 ①入学時期超過 <高校卒業(大学検定合格):平成 年 月> ②修業年限超過 < 年度に留年> ※休学は対象外
③昨年度までの累積取得単位数が標準単位数未満 <卒業必要単位数(履修要項で確認すること)÷昨年度の学年>
④家計基準 < 収入超過・資産超過 > ⑤第三区分(本学基準で全額免除となる可能性がある) ⑥大学院生

研究部科: 修士・博士・博士前期・博士後期 学年: 学籍番号: 氏名:
家族の連絡先 氏名: 続柄: 電話番号: 自宅・携帯

R6年度<前期> 全額免除・1/2額免除・1/4額免除・不承認・入学前・申請せず(理由に○)
本学減免状況 理由〔国の制度対象で独自制度対象外だった・書類不備で不受理・忘れていた・制度を知らなかった・経済的に問題なかった・他〕

Table with 5 columns: 続柄番号, 氏名(障害:有・無, 年齢), 住所(自宅・自宅外), 該当区分・勤務先名称(職業等)自営・会社員等の別, 勤続期間(就職日・離職日等). Rows 1-8 for family members.

2 経済援助 A 離別した父又は母からの経済的援助等(生活費・教育費・養育費・祝い金等、金銭の授受全て) 有・無 続柄 援助等の額(月額・年額) 円 A
B 別生計(別居)の兄弟姉妹・祖母等からの経済的援助(仕送り等) 有・無 氏名(続柄) 援助等の額(月額・年額) 円 B

Table with 10 columns: 番号(続柄), 給与収入(万円), 年金収入(万円), 経済援助額(万円), 左記以外の収入(万円), 収入合計(万円), 所得換算(万円), 自営所得(農業・農林漁等), 配当・不動産等(その他の所得), 所得合計(万円). Rows for family members and a total row.